

謝恩価格本ネットフェア出展社募集	1
造本装幀コンクール受賞作決定!	1
「印刷と私」エッセイ募集	2
不動産協会賞推薦書籍を募集中	3

謝恩価格本ネット販売フェア 出展社募集開始!

(一社)日本書籍出版協会(相賀昌宏理事長)は、再販制度の弾力運用の一環として、インターネットでの第28回「期間限定 謝恩価格本ネット販売フェア」を「読書週間」(10月27日～11月9日)を中心にした10月27日(金)から12月27日(水)まで開催する。

書籍は本体価格の45%引きで販売。

前回より、仕入れ・清算・返品は大阪屋栗田、読者への販売等は楽天ブックスが行なっている。新体制での2回目の運用であり、前回よりもさらに在庫管理や出版社負担の軽減など、運用面での改善を図る。

今回の募集概要は、8月上旬より日本書籍出版協会ホームページ(<http://www.jbpa.or.jp>)に公開予定で、多くの出版社の参加を求めている。

◆申込み方法◆ 8月28日(月)までに書協宛(ohmori@jbpa.or.jp)にメールで送付。申込を受け付け次第、スケジュール等を申込社に返送する。

◇第27回ネットフェア終了

「子どもの読書週間」を中心に、4月21日から6月21日まで、第27回フェアを開催し、出版社83社・約900点を本体価格の50%引きで販売した。

第27回より体制が代わり、販売サイトも一新し、読者がより検索しやすいサイトをめざした。

売上冊数約6,500冊、売上金額約600万円となった。売上金額のジャンル別の主な内訳は、「絵本・児童書・図鑑」32.3%、「ホビー・スポーツ・美術」16.2%、「美容・暮らし・健康・料理」10.9%、「科学・技術」8.6%、「語学・学習参考書」7.2%、「エンタメ・ゲーム」5.0%

(問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-3268-1303)

第51回造本装幀コンクール 受賞作22点が決定

第51回造本装幀コンクール(主催:日本書籍出版協会・日本印刷産業連合会)の審査会が7月3日に行なわれた。136者330点の出品作品が集まり、その中から受賞作22点(重複受賞1作品)が決定した。

選考会は浜田桂子審査員長(絵本作家)、ミルキィ・イソベ(装幀家)、緒方修一(装幀家)、中江有里(読者代表、女優・作家)の各氏に加え、主催・後援団体の代表を含めた計25名の審査員によって行なわれた。

文部科学大臣賞、経済産業大臣賞のほか、審査員奨励賞(3点)、主催・後援団体賞等(16点)が選ばれた(東京都知事賞は該当作品なし)。また、「優れた作品だが、三賞・奨励賞とは異なる形で評価するのが妥当」とする作品があり、今年に限り審査員特別賞として表彰することとした。

三賞および審査員特別賞、審査員奨励賞は下記の通り(作品名、出版社名/装幀者/印刷/製本)。

◇文部科学大臣賞=『角砂糖の日 新装版』

(LIBRAIRIE6/佐野裕哉/東京印書館/積信堂)

◇経済産業大臣賞=『根源乃手/根源乃(亡露ノ)手、……』(響文社/井原靖章/亜細亜印刷/亜細亜印刷)

◇審査員特別賞=『DELICACY』(M+W Co.,Ltd./NOBUO SEKIGUCHI/大日本印刷/大口製本)

◇審査員奨励賞(技術や表現に新しい試みや工夫が施され審査員が特に推奨する作品)



左 経済産業大臣賞 右 文部科学大臣賞

○『城崎へかえる』（本と温泉／本庄浩剛／図書印刷／図書印刷）

○『うれしいセーター』（ほぼ日／大島依提亜／凸版印刷／凸版印刷）

○『京舞つれづれ』（岩波書店／岩波書店製作部／三陽社（本文）半七写真印刷（付物）／牧製本印刷（製本）加藤製函所（製函）

その他入賞作品は日本書籍出版協会ホームページ（<http://www.jbpa.or.jp/>）に掲載。

表彰式は10月19日（木）に日本出版会館にて受賞関係者のみで開催。全出品作品は今年の神保町ブックフェスティバルの会期中（11/3～5）、東京堂ホール（東京堂書店6階）にて展示される。

その後、入賞作品は2018年2月にドイツ・ライプツィヒで開催される「世界で最も美しい本コンクール」に日本を代表して出品され、2018年10月のフランクフルト・ブックフェアにて展示される。また、2017年12月1日から明年3月4日まで印刷博物館（文京区）にて、今回の入賞作品と「世界で最も美しいコンクール2017」の入賞作品が展示される予定である。

（詳細問合せ JPIC TEL 03-5211-7282）

「図書館とまちづくり」シンポジウム報告

（公社）日本図書館協会（＝日図協）は、7月5日に千代田区立日比谷図書文化館にて、シンポジウム「図書館とまちづくり」（協力：日本書籍出版協会＝書協）を開催し、145名が参加した。これは日図協が昨年実施したアンケート調査「自治体総合計画等における図書館政策の位置づけについて」の結果の周知と、自治体関係者を含めた多くの人に地域創生やまちづくりの観点から図書館の重要性や可能性への理解を促し、地域に根ざした図書館活動の一層の発展を図る事を目的としたものである。

登壇したのは、森茜（日図協理事長）、河野俊嗣（宮崎県知事）、西井淳（読売新聞東京本社論説委員）、猪谷千香（文筆家）の各氏。当日のあいさつには、書協理事長の相賀昌宏氏のほか、図書議員連盟会長の細田博之衆議院議員も登壇し、地域振興における図書

館活動が重視されている状況のなかで、図書館の重要な役割を担う「本」を社会に送り出す出版文化・活動についての言及もあった。

森理事長は、全国の自治体を対象としたアンケートか



ら、地域振興、市民サービス、職業支援等における図書館事業の事例を紹介した。河野宮崎県知事は、「日本一の読書県」を目指しており、課題解決型図書館の取り組みを強化すると述べ、様々な組織とも連携し、県の主産業への支援を行っている図書館活動の事例についても紹介した。読売新聞の西井氏は、災害被害を受けた地域等において、災害後の地域資料・災害アーカイブの収集、保護、そして、地域住民の心のケアの場として困難な状況の中でも図書館を開放し続けた事例など、「現場」での司書の役割の重要性について語り、そのうえで、司書の社会的地位の向上も課題であると述べた。また、猪谷氏は、図書館は、公共の教育機関であり、その地域の市民生活の柱であるとし、行政の支援も重要である一方で、市民による図書館の地位のボトムアップも大切だと述べた。閉会のあいさつには、書協・図書館委員会委員長の持谷寿夫氏（みすず書房）が壇上に上がり、年々減少傾向にある自治体の図書館運営費・図書購入費予算の増額に向けた活動に対し出版界としても協力していくと述べ、また、図書館の根幹である蔵書・選書についても意見交換を重ね、充実を図っていきたいと会を締めくくった。

第1回「印刷と私」

エッセイ・作文コンテスト開催

（一社）日本印刷産業連合会（＝日印産連）グリーンプリンティング認定事務局の主催のもと、印刷業界初の試みとして、第1回「印刷と私」コンテストを実施する。“私にとって大切な印刷製品”“記憶に残る印刷物”“印刷の思い出”など、印刷にまつわるエッセイ・作文を広く一般から募集する。審査員長は「くまモン」の生みの親であり、グリーンプリンティングPR大使に就任している小山薫堂氏が務める。2017年9月10

日締め切り、11月20日に表彰式、入賞作品は「印刷と私」作品集として発行される。

◎第1回 「印刷と私」コンテスト開催概要

【テーマ】「印刷と私」印刷にまつわるエッセイ・作文

【募集内容】 ①一般の部／中学生以上 エッセイ800字以内、②小学生の部 作文400字以内。

【募集締切】 2017年9月10日（日）必着。

【審査発表】 2017年11月に日印産連HP及び新聞紙面において審査結果を発表。

【応募方法】 郵送、Eメールまたは日印産連HPより応募。自作、未発表作品に限る。応募用紙は自由。

【コンテスト詳細・公式HP】

<https://www.jfpi.or.jp/greenprinting/contest>

(問合せ 日印産連グリーンプリンティング認定事務局 TEL03-3553-6123 Mail: contest@jfpi.or.jp)

不動産協会賞 出版社による推薦を募集中

(一社)不動産協会は、社会貢献の一環として、2009年の第1回より「不動産協会賞」と称し、不動産業の課題等を、書籍を通じて一般に広く理解してもらうことを目的に、不動産、都市、住宅、建築、金融、環境、社会等の幅広い分野を対象に、社会的に広く推奨したい著作を表彰している。

今年から、不動産協会賞の認知度の向上を兼ね、出版社から候補作を公募(推薦提案)することとなった。出版社による作品推薦要項は以下の通り。

【対象書籍】狭義の「不動産」にこだわらず、「都市再生」「住宅」「防災・減災」「環境問題」「持続可能性」「エネルギー問題」など広く対象とする。専門的すぎる学術書・専門書は原則的に除く。詳細は、ホームページ参照 (<http://www.fdk.or.jp>)

【応募規定】

○対象：2017年1月1日～8月31日までに出版された日本語による新刊書(ただし、8月以降2017年内に発行予定のものも可)

○締め切り：平成29年8月31日

○出版社ごとの推薦作品数の上限は設けない。

【応募先】下記メールアドレス宛に、Eメールにて推薦作品を連絡。〈book@fdk.or.jp〉

【賞金】50万円(著作者に対して授与)

【発表】不動産協会HP等(平成30年3月上旬)

【過去の受賞出版社(参考)】学芸出版社、講談社、ミネルヴァ書房、新潮社、筑摩書房、集英社、PHP研究所、祥伝社、中央公論新社、東洋経済新報社等

(問合せ 不動産協会事務局 TEL 03-3581-9421)

書協紹介コラム

6月号(No.404)の続きとして、委員会とその主な活動を紹介します。

委員会 Committees

流通委員会、生産委員会、研修事業委員会、出版経理委員会、知的財産権委員会、読書推進委員会、図書館委員会、出版の自由と責任に関する委員会、国語問題委員会、国際委員会、人事・総務委員会、書籍データベース委員会、近刊図書情報小委員会、TIBF委員会

知的財産権委員会：幹事会、権利ワーキンググループを設置し、その時々々の法改正や著作権、出版者の権利をめぐる問題・課題について対応しています。最近では、教育の情報化の推進に対応する著作権の権利制限規定の見直し、柔軟な権利制限規定に関する法整備に対して、意見書を取りまとめ、提出しました。

(<http://www.jbpa.or.jp/pdf/documents/housei-iken20170329.pdf>)

より全文閲覧可能。その他、出版契約書ヒナ型や契約書の解説ハンドブックの改訂作業等を現在行っています。

読書推進委員会：造本装幀コンクールの審査員、子どもの読書推進会議の参加等、様々な読書推進活動への協力・支援等を行っています。

図書館委員会：日本図書館協会と連携し、出版社と図書館が共通で抱える課題につき対応すべく協力体制を築いています。また、出版界と図書館界との相互理解を促進するとともに相互の活動の周知を図るため、様々なシンポジウムを開催しています。

出版の自由と責任に関する委員会：メディア規制につながる立法への反対活動と監視、責任ある出版活動を支える倫理問題への取り組みや、出版倫理協議会などへの委員派遣を行っています。

国際委員会：国際出版連合(IPA)との連携・年次大会への参加、海外ブックフェア等での協力や、日本の出版界の海外への紹介等を行っています。

人事・総務委員会：出版界における賃金、人事考課、労働条件などについての情報交換や、昨年はマイナンバー説明会を実施しました。

書籍データベース委員会：出版情報のインフラ整備の一環として、現在新刊市場で手に入る書籍を網羅したデータベースを作成し、書店、取次会社等のほか、当協会の書籍検索サイト(<http://www.books.or.jp>)へデータを提供しています。また、日本出版インフラセンター(JPO)と連携し、さらなるデータの充実と普及に取り組んでいます。

近刊図書情報小委員会：近刊図書情報誌「これから出る本」を運営しています。月2回(1日・16日)の発行で、書店店頭で無料配布しています。2016年5月下旬号より誌面をリニューアルし、内容紹介枠の拡大など、より読みやすい誌面構成としました。

以上

出版統計

書籍	6月期	前年同月比	1～6月期	前年同期比	書籍出回り	6月期	前年同期比	1～6月期	前年同期比	
新刊点数	6,037点	89.1	36,711点	95.7	推定出回部数	8,228万冊	98.0	51,763万冊	95.4	
新刊推定発行部数	2,571万冊	96.2	15,315万冊	97.9	推定出回金額	928億円	99.3	6,012億円	97.1	
新刊平均価格	1,154円	98.5	1,182円	100.4	推定出回平均価格	1,128円	101.3	1,161円	101.8	
新刊推定発行金額	297億円	94.8	1,811億円	98.0	実売部数	6月期	前年同期比	1～6月期	前年同期比	
月刊誌	6月期	前年同月比	1～6月期	前年同期比	書	籍	4,616万冊	98.8	32,236万冊	95.6
発行銘柄数	2,252点	98.7	2,765点	97.5	月刊誌	7,275万冊	89.7	43,196万冊	89.4	
推定発行部数	13,132万冊	93.6	77,217万冊	93.1	週刊誌	2,905万冊	86.6	17,608万冊	89.4	
平均価格	642円	102.9	638円	101.8	実売金額	6月期	前年同期比	1～6月期	前年同期比	
推定発行金額	843億円	96.4	4,926億円	94.8	書	籍	542億円	99.8	3,954億円	97.3
週刊誌	6月期	前年同月比	1～6月期	前年同期比	月刊誌	460億円	93.7	2,711億円	91.6	
発行銘柄数	77点	104.1	79点	100.0	週刊誌	102億円	90.4	616億円	91.1	
推定発行部数	4,763万冊	91.7	28,009万冊	92.7	実売金額合計	1,104億円	96.2	7,281億円	94.5	
平均価格	367円	104.6	361円	102.3						
推定発行金額	175億円	96.0	1,012億円	94.7						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
 - 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したのもの。
 - 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
 - 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額
- [提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

出版社への重要なお知らせ

消費税率変更に伴う措置「消費税転嫁特別措置法」の期限が法律改正により延長されました。

<2018年9月30日から、2021年3月31日までに延長>

【消費税転嫁特別措置法 第10条】

事業者（消費税法（昭和六十三年法律第八号）第六十三条に規定する事業者をいう。以下この条において同じ。）は、自己の供給する商品又は役務の価格を表示する場合において、今次の消費税率引上げに際し、消費税の円滑かつ適正な転嫁のため必要があるときは、現に表示する価格が税込価格（消費税を含めた価格をいう。以下この章において同じ。）であると誤認されないための措置を講じているときに限り、同法第六十三条の規定にかかわらず、税込価格を表示することを要しない。

【出版物への価格表示について】

原則として、出版物への総額表示（税込価格）が義務付けられており、各出版社では、スリップのポーズ（上部突起）部分に税込みの価格（＝定価）を記載するなどして対応しているが、特別措置として、2021年3月31日まで、総額表示の義務が免除される（税込価格の表記が不要）。

編集後記

「不動産協会賞」不動産をわかりやすく知ってもらいたいため専門過ぎる書籍は対象外。素人？読者にはいい企画ですね。オリピックが近づいたらおもしろい書籍が出てきそうです（あ）

図書館シンポジウムでの、被災した地域の図書館の非正規司書の方々が、被災状況や物資に関するチラシを作成する等、現場での活動の話に心を打たれました。図書館の抱える大きな課題の一つに、司書の社会的認知・地位の向上があると痛感しました（吉）

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL:03-3268-1301

FAX:03-3268-1196

書協Web サイトもご覧ください

<http://www.jbpa.or.jp>